



北海道

防衛HOKKAIDO

編集・発行
防衛省北海道防衛局 広報委員会

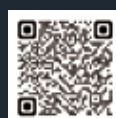
札幌市中央区大通西12丁目 札幌第3合同庁舎
TEL 011-272-7579
<https://www.mod.go.jp/rdb/hokkaido/>



奥尻町のシンボル
なべつる岩
(奥尻町提供)

「絆（きずな）」奥尻島分屯基地と奥尻町の紹介・・・・・・・・	P2～3
「絆（きずな）」補助事業 ノース・ウインドの対応・・・・	P4
施設整備関連・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P5
防衛問題セミナー開催・・・・・・・・・・・・・・・・	P6
防衛政策講座 防衛力の抜本的強化について（第5回）・・・	P7
部隊訓練研修 帯広市企業団体の長等の帯広駐屯地見学・・・	P8
採用イベント参加 在日米陸軍司令官来局・・・・・・・・	P9
職員採用情報 自衛官等採用案内・・・・・・・・	P10

北海道防衛局
ホームページ



北海道防衛局
公式X



2026
3
vol.97



「絆（きずな）」

奥尻島分屯基地

航空自衛隊 奥尻島分屯基地の紹介



分屯基地から望む雲海



厳寒期の庁舎地区

奥尻島分屯基地は、北海道では唯一、離島にある警戒監視部隊として、昭和34年6月に発足しました。以降、我が国の領空を侵犯する恐れのある航空機等を24時間態勢で監視し、対領空侵犯措置に資する活動を行っています。

基地は、島の最高峰である神威山（標高584m）の山頂にあり、4月から5月にかけては、基地周囲に雲海が広がり、圧巻の景色となります。

奥尻町との関係性

隊員は、学校行事等を通じた島民との関係が構築される機会に加え、毎年、島内で実施される「おくしりまるごと祭」や「町民マラソン大会」などの行事支援、海浜清掃ボランティアなどに積極的に参加したり、夏は海岸でバーベキューを一緒に楽しんだり、島民とのふれあいを大切にしています。

おくしりまるごと祭の支援



町民マラソン大会の支援

海浜清掃ボランティア



奥尻島に分屯基地を構えて以来67年、常続不断的警戒監視等を通じ、国防への寄与はもとより、地域の安全の確保に尽力してまいりました。これまで賜ったご支援への感謝を胸に、今後も地域に根ざし、果たすべき責務を遂行してまいります。

第29警戒隊長兼ねて奥尻島分屯基地司令 2等空佐 百々 周作





「絆（きずな）」

奥尻町

「心かよいあう幸の島」 奥尻町



球島山の絶景眺望



自衛隊も参加する「おくしりまるごと祭」

奥尻町は北海道最西端の手つかずの自然を有し、離島最北のブナ林と豊かな海が育む新鮮な魚介類が魅力の離島です。

奥尻島のハイシーズンは夏で、名産キタムラサキウニ漁が最盛期を迎え、離島ならではの風景やマリンレジャー、毎年開催する夏のイベント「おくしりまるごと祭」を楽しむために多くの観光客が島を訪れます。

そして、春は山菜採りや釣り、秋は島の8割を占める森林の紅葉と温泉、春・夏・秋はキャンプ、冬は荒々しい日本海とオジロワシといった四季折々の魅力や楽しみ方もあります。

奥尻ワインや地酒奥尻と海の幸を堪能しながら、人情あふれる島民と一緒にゆっくりと流れる「島時間」を過ごしていただきたいです。



名物「うに丼」

奥尻町と防衛省・自衛隊との関わり

航空自衛隊奥尻島分屯基地の皆様には、半世紀以上に亘り日本の空の警戒監視と国境離島・奥尻島の地域社会維持に大きく貢献していただいております。

津波災害を想定した町の防災訓練は航空自衛隊とともに陸上自衛隊も参加していただいております、離島防衛に係る訓練も定期的に実施しております。



奥尻町防災訓練の炊き出し支援



奥尻島空上げの取組

また今年も、町と地元高校生とコラボにより奥尻島分屯基地の取組みを生かした「奥尻島空上げ」を開発、地産地消レシピを飲食店に提供するなど様々な形で町民との交流を深めていただいております。

自衛隊の皆様には、我が国の安全確保、気候変動が激しい近年の自然災害への災害派遣活動などをはじめ、奥尻町の各種イベントや地域活動にも積極的にご参加をいただいております、心から感謝申し上げます。

今後も、自衛隊の皆様や関係機関とも連携を図りながら、有人国境離島として安心・安全な社会基盤の維持に努めてまいります。



新村 卓実 奥尻町長



「絆（きずな）」

補助事業

奥尻島分屯基地周辺 ごみ処理施設 設置助成事業

防衛省は、防衛施設の設置又は運用により生活又は事業活動が阻害されると認められる場合、「防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律」第8条に基づき、民生安定施設整備事業として、地方公共団体が必要な施設の整備を実施するときに、その費用の一部を補助しています。

本事業は、防衛施設から排出されるごみを一般のごみと併せて埋立てにより処理するための施設として整備しました。

【補助事業の概要】

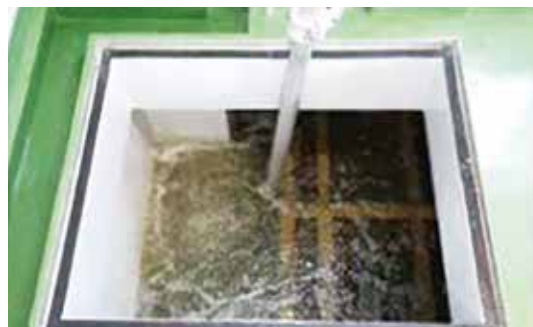
補助事業の内容：埋立処分地、浸出水処理一式

事業年度：令和2年度～令和4年度

補助対象事業費：844,195千円

補助額：422,097千円

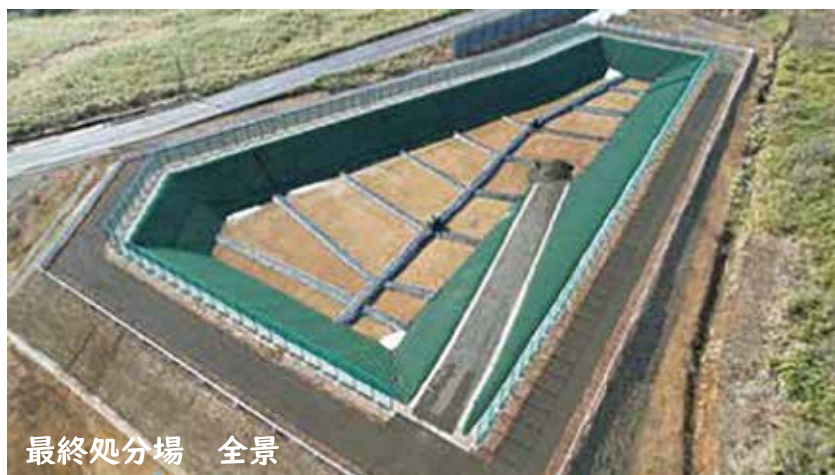
（補助率5／10）※補助率は令和4年度当時



生物処理設備



凝集沈殿処理設備



最終処分場 全景



ノース・ウインドの対応

1月22日から2月2日までの間、真駒内駐屯地、滝川駐屯地、滝川演習場、北海道大演習場、南恵庭駐屯地及び丘珠駐屯地において、米陸軍との実動訓練「ノース・ウインド26」が実施されました。

本訓練では積雪寒冷地におけるスキー行進等の機能別訓練及び一連の戦術行動を演練する総合訓練、陸自・米軍ヘリを活用した空中機動訓練、並びに米陸軍部隊による空挺降下訓練等が実施されました。



連携確認を行う日米の隊員

北海道防衛局は、関係する自治体に対し訓練に係る情報提供を行うと共に、不測の事態が発生した際に迅速かつ適切な対応が可能となるよう、連絡体制を構築しました。



施設整備関連

建設業協会、電業・空衛協会への事業説明会について

2月4日、北海道建設業協会、北海道電業協会及び空調衛生工事業協会に対し、各駐屯地・基地等における令和8年度事業の主要工事、契約制度における北海道開発局との相違点や制度改正点のトピック、管内における中長期的な事業の見通しについて事業説明会を開催しました。

北海道建設業協会への説明会には、防衛本省から井上大臣官房施設監も来局し、説明後には質疑応答、意見交換をするなど地元建設業界の現状を拝聴いたしました。今後は、いただいた意見等を参考に更なる発展を目指してまいります。



北海道建設業協会



北海道電業協会／空調衛生工事業協会

盤尻大橋の紹介

北海道大演習場を繋ぐ、道路等整備工事

(橋梁概要：橋長約300m、幅員約12m、高さ約30m)



北海道の演習場専用道路の橋梁としては最長となる、橋長約300mの橋梁です。

支笏湖から恵庭市内に流れている漁川（いざりがわ）と道道117号線を跨ぐため、橋梁支間長が最大約80mとなります。

現在、橋梁部が完成したところであり、開通に向けて橋梁に繋がる舗装工事を実施しています。



防衛問題セミナー開催

北海道防衛局では、我が国の防衛政策や防衛省・自衛隊の活動等について、北海道の皆様に関心を持っていただくための各種取組を行っており、その一環として、平成19年以降、道内各地で防衛問題セミナーを開催しております。

令和7年度は、登別市と札幌市でそれぞれ防衛問題セミナーを開催しました。

第50回防衛問題セミナー

令和7年12月9日（火）登別市民会館（登別市）において、50回目の節目となる防衛問題セミナーを開催しました。

第1部では、防衛研究所主任研究官 長谷川講師から、ロシア・中国・北朝鮮の連携や、ウクライナ情勢を交えながら、北海道を取り巻く安全保障情勢について、講演しました。

第2部では、北海道大学教授 青山講師から、有珠山の過去の噴火事例や、噴火の仕組み、噴火災害と噴火災害軽減に向けた防災の取り組みなどについて、ご講演いただきました。

参加された方からは「ロシアとの関係性についてもっと深く知りたいと思った」「災害発生時の連携について深く考えさせられた」など多くの感想をいただきました。



長谷川講師による講演の様子



青山講師による講演の様子

第51回防衛問題セミナー

令和8年2月3日（火）札幌市教育文化会館（札幌市）において、防衛省と女性・平和・安全保障（WPS）をテーマに、防衛問題セミナーを開催しました。

防衛政策局WPS国際連携室 松沢室長からWPSの背景・経緯、国際社会の動向や、WPS推進の意義と必要性を解説しながら、防衛省・自衛隊のWPS推進の取組状況などについて、講演しました。

今回は、近隣の自衛隊部隊からの参加も多く部内外問わず関心の高さがうかがえました。

また、多くのご質問もいただき活況な防衛問題セミナーとなりました。



松沢講師による講演の様子



防衛政策講座 防衛力の抜本的強化について (第5回 指揮統制・情報関連機能の強化)

わが国の安全保障政策にかかる主要な文書である「国家安全保障戦略」などの「戦略三文書」において、防衛力の抜本的強化にあたり重視する7つの機能・能力が位置付けられています。

今回は、指揮統制・情報関連機能の強化について紹介します。

今後、戦闘様相はより一層迅速化、複雑化していくことから、部隊などの**指揮官の意思決定を相手の意思決定よりも迅速かつ的確に行い、戦闘を主導的かつ有利に進めることが一層重要**となります。

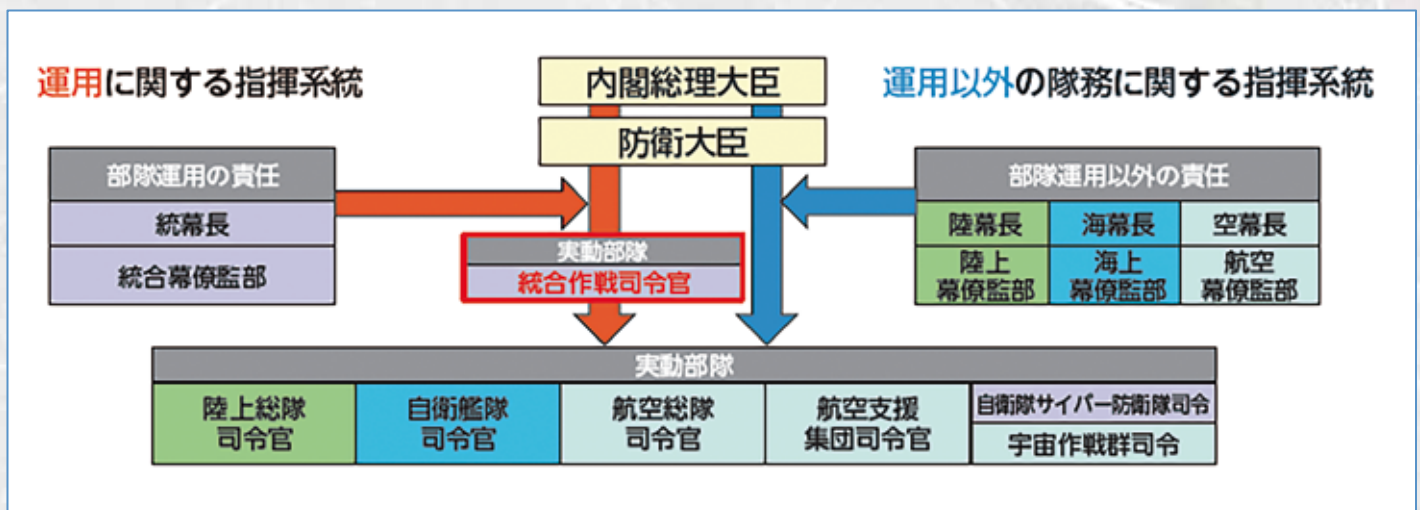
このため、**AIの導入**などを含め、リアルタイム性、抗たん性、柔軟性を備えた指揮統制ネットワークを構築し、**迅速かつ確実な I S R T※（情報収集・警戒監視・偵察・ターゲティング）の実現**を含め、指揮統制・情報関連機能を強化していきます。

※ **I**ntelligence, **S**urveillance, **R**econnaissance and **T**argeting

具体的な取組

● 統合作戦司令部の創設（令和6年度）

- ・自衛隊の運用等に関し、平素から部隊を一元的に指揮することにより、情勢の推移に応じたシームレスな対応が可能となる



● 衛星コンステレーションの構築（令和7年度）

隙のない情報収集体制の構築やスタンド・オフ防衛能力の実効性を確保する観点から、防衛省が求めるタイミングで高頻度かつ優先的、安定的に画像を取得

● 電波情報収集機（RC-2）

周辺国の航空戦力の近代化や電子戦能力の向上に対応するため、受信周波数帯域の拡大や遠距離目標探知能力の向上など電磁波領域における情報収集能力を大きく強化

● 認知領域を含む情報戦に対応した体制の整備

- ・情報戦対処の中核を担う情報本部に専属部署を新設（令和6年度）
- ・陸上自衛隊情報作戦隊の新設
- ・海上自衛隊情報作戦集団の新設



電波情報収集機（RC-2）



部隊訓練（戦車射撃競技会）研修

1月26日から28日までの間、入省間もない職員を中心に、北海道大演習場島松地区で実施された、令和7年度方面隊戦車射撃競技会の研修に参加しました。

戦車射撃競技会は、毎年戦車を保有する部隊が名誉をかけて実施する競技会であり、4両の戦車（小隊単位）が小高い山から目標を狙う稜線射撃や、小隊が連携して複数の目標を撃破する行進射撃等を行います。

参加職員からは、「ブリーフィングにより戦史や第7師団の役割等を学べた。」、「射撃の衝撃を肌で感じ、驚きと感動を覚えた。」、「日々の業務が自衛隊の活動を支えているということを再認識できた。」との声があり、有意義な研修となりました。

本研修の経験を活かし、今後も自衛隊の活動基盤となる防衛施設の安定使用のため、各持ち場において職務に邁進してまいります。



研修風景



迫力ある戦車射撃



展示戦車との集合写真



帯広市企業団体の長等の帯広駐屯地見学

帯広防衛支局は1月26日、帯広駐屯地所在部隊の支援をいただき、帯広市内に所在する官公庁の長（北海道財務局帯広財務事務所長ほか2官署）及び企業団体の長（日本放送協会帯広放送局長ほか2団体）に対する帯広駐屯地見学を実施しました。

第5旅団長への表敬訪問ののち、司令職務室広報幹部から駐屯地に関する概況説明を受け、駐屯地資料館の見学のほか、第4普通科連隊による高機動車の体験搭乗や第1対戦車ヘリコプター隊によるAH-1Sの説明を受けました。

また、隊員食堂において、帯広駐屯地司令を囲んで体験喫食も行っていただき、参加者の方々に防衛省・自衛隊に対する認識と理解を深めていただくことができました。



司令職務室による概要説明



AH-1Sの操縦について説明を受ける参加者



採用イベント参加

1月31日及び2月1日にサッポロファクトリーで開催された、人事院北海道事務局主催「HOKKAIDOPUBLIC NEXT 2026」に参加し、北海道防衛局の業務説明を行いました。

来場者は2日間で1000名を超え、当局のブースにも多くの方に足を運んでいただきました。

防衛省に興味がある方を始め、希望する省庁を決めかねている方にも積極的に説明を行ったところ、「防衛省のイメージが変わった」、「具体的な仕事内容が知れてよかった」等のコメントをいただきました。

今後も業務説明会を定期的に行いますので、北海道防衛局の業務に興味のある方はぜひご参加ください！

ご質問・ご要望等ございましたらお問い合わせください。

【お問合せ先】防衛省北海道防衛局 総務部総務課人事係 TEL 011-272-7590



在日米陸軍司令官来局

1月28日、在日米陸軍司令官ドゥーガン准将（階級は当時）は、北海道防衛局を訪問し、掛水局長と懇談を行い、北海道における自衛隊との共同訓練を円滑に実施するための意見交換をしました。

北海道防衛局は、引き続き自衛隊と在日米軍との共同訓練がより円滑に実施できるよう支援してまいります。



北海道防衛局ホームページ・Xのご案内

北海道防衛局では、入札や職員採用などの情報を随時発信しています。

広報誌「防衛北海道」のバックナンバーもご覧になれますので、ぜひアクセスしてください。



北海道防衛局HP



北海道防衛局公式X

職員採用情報

地方防衛局の事務官・技官について

地方防衛局は、防衛省の地方支分部局として、全国の主要都市に所在し、主に**事務官（事務職）**と**技官（技術職）**で構成された組織です。

地方防衛局では、防衛政策について地域の皆様の理解を得るための説明や情報提供の実施、防衛施設の建設、自衛隊や在日米軍の運用に伴い発生する障害（騒音など）対策、国有財産の取得・管理など、様々な業務を実施しています。

全国約2,500名の地方防衛局の事務官及び技官は、行政官・エンジニアとして、「**我が国の平和と独立を守り、国の安全を保つ**」一翼を担っています。

国家公務員採用一般職試験（大卒程度試験）

◇行政 ◆デジタル・電気・電子 ◆機械 ◆土木 ◆建築
◆物理 ◆化学 ◆農学 ◆農業農村工学 ◆林学 ◇教養

国家公務員採用一般職試験（高卒程度試験）

◇事務 ◆技術（電気・情報系、機械系、土木系、建築系）
◆林業 ◆農業土木

令和8年度採用試験スケジュール

■国家公務員採用一般職試験（大卒程度試験）

2/19～3/23	5/31	6/24	7/8～7/24	8/12	随時	10/1以降
申込期間	1次試験	1次試験合格発表	2次試験	最終合格発表	採用面接	内定

3/1以降 随時業務セミナー開催！

官庁訪問（2次試験期間中除く）

■国家公務員採用一般職試験（高卒程度試験）

6/12～6/24	9/6	10/8	10/14～10/23	11/17	随時	採用面接後随時
申込期間	1次試験	1次試験合格発表	2次試験	最終合格発表	採用面接	内定

1次試験以降、業務セミナー開催予定！

官庁訪問（2次試験期間中除く）



令和8年度自衛官等採用案内

（受付期間6月までのものを抜粋しています）



種 目		資 格	受付期間 (締切日必着)	試験期日	合格発表
一 般 曹 候 補 生 (第 1 回)		18歳以上33歳未満の者 (32歳の者は、採用予定月の末日現在、33歳に達していない者)	3月1日～5月7日	1次：5月16日～5月24日 2次：6月13日～6月29日 ※いずれか1日を指定されます。	1次：6月4日 最終：7月24日
2 等 陸・海・空 士 (任期制自衛官)		18歳以上33歳未満の者 (32歳の者は、採用予定月の末日現在、33歳に達していない者)	年間を通じて行っており ます。	受付時又は各自衛隊地方協力本部の ホームページにてお知らせします。	試験時にお知らせします。
幹 部 候 補 生 (第 1 回) (第 2 回)	(第 1 回) 一 般 専 門 (陸) 飛 行 (海空)	【大卒程度試験】 22歳以上28歳未満の者 (20歳以上22歳未満の者は大卒(見込含)、 修士課程修了者等(見込含)は28歳未満の 者)	① 3月1日～4月3日	① 1次：4月11日・4月12日 (12日は海空の飛行要員のみのみ) 2次：6月1日～6月7日 3次：海空飛行要員のみのみ (海)：7月2日～7月6日 (空)：7月18日～8月7日	① 1次：5月21日 2次：海空6月25日 最終：陸7月30日 海8月6日 空9月3日
	(第 2 回) 一 般 専 門 (陸) 音 楽 (陸) 飛 行 (海)	【院卒者試験】 22歳以上28歳未満の者 (20歳以上22歳未満の者は大卒(見込含)、 修士課程修了者等(見込含)は28歳未満の 者)	② 4月22日～6月5日	② 1次：6月13日・6月14日 (14日は海空飛行要員のみのみ) 2次：7月25日～7月31日 3次：海空要員のみのみ (海)：9月3日～9月7日	② 1次：7月16日 2次：海8月27日 最終：陸10月1日 海10月8日 空9月17日
	歯 科 薬 劑	専門の大卒(見込含) 21歳以上30歳未満の者 (薬剤科は20歳以上21歳未満の者)	① 3月1日～4月3日 ② 4月22日～6月5日	① 1次：4月11日 2次：6月1日～6月7日 ② 1次：6月13日 2次：7月25日～7月31日	① 1次：5月21日 最終：陸空7月30日 海8月6日 空9月3日 ② 1次：7月16日 最終：陸10月1日 海10月8日 空9月17日
医 科・歯 科 幹 部 (第 1 回)		医師・歯科医師の免許取得者	2月1日～5月21日	6月19日	7月23日
幹 部 候 補 曹 (第 1 回、第 2 回)		21歳以上33歳未満の者	① 3月1日～4月3日	① 1次：4月11日 2次：6月1日～6月7日	① 1次：5月21日 最終：陸7月30日 海8月6日 空9月3日
			② 4月22日～6月5日	② 1次：6月13日 2次：7月25日～7月31日	② 1次：7月16日 最終：陸10月1日 海10月8日 空9月17日
キ ャ リ ア 採 用 幹 部 (第 1 回)		大卒以上の者で、応募資格に定められた学 部・専攻学科等を卒業後、2年以上の業務 経験のある者	3月1日～5月15日	陸：6月8日 海：6月12日又は6月15日 空：6月15日	7月23日
技 術 曹 (第 1 回)		21歳以上の者で国家免許資格取得者等	3月1日～5月15日	陸：6月8日・9日 海：6月12日又は6月15日 空：6月15日	7月23日
予 備 自 衛 官 補 (第 1 回) (第 2 回)	一 般	18歳以上52歳未満の者	① 1月22日～3月30日 ② 6月23日～9月10日	① 4月1日～4月18日 ② 9月12日～10月4日 ※いずれか1日を指定されます。	① 6月10日 ② 11月11日
	技 能	18歳以上で国家資格免許等を有する者(資 格により年齢上限は53歳未満～55歳未満)			

- (注) 1. 記載内容については変更する場合があります。変更事項については自衛官募集ホームページ等でお知らせしますのでご確認ください。
2. 9年度の採用人員につきましては、決定次第、自衛官募集ホームページ等でお知らせしますので、ご確認ください。
3. 応募資格年齢の起算日は、種目ごと異なりますので、それぞれの採用要項又は自衛官募集ホームページ等で確認してください。
4. その他、詳細については、各採用(募集)要項又は自衛隊地方協力本部で確認してください。

詳しくは最寄りの自衛隊地方協力本部までお問い合わせください。



札幌地方協力本部
011(631)5472



旭川地方協力本部
0166(51)6060



函館地方協力本部
0138(53)6241



帯広地方協力本部
0155(23)5882



自衛官募集X